

ウォーターニュース 尼崎

水道だより

創刊号

ウォーターニュース 尼崎/平成8年7月/尼崎市水道局/〒660 尼崎市東七松町2丁目4-16 ☎06(489)7402

きのう、今日、明日を見つめ、進める“水づくり”

発刊に寄せて

日頃は、本市水道事業にご協力をいただき誠にありがとうございます。

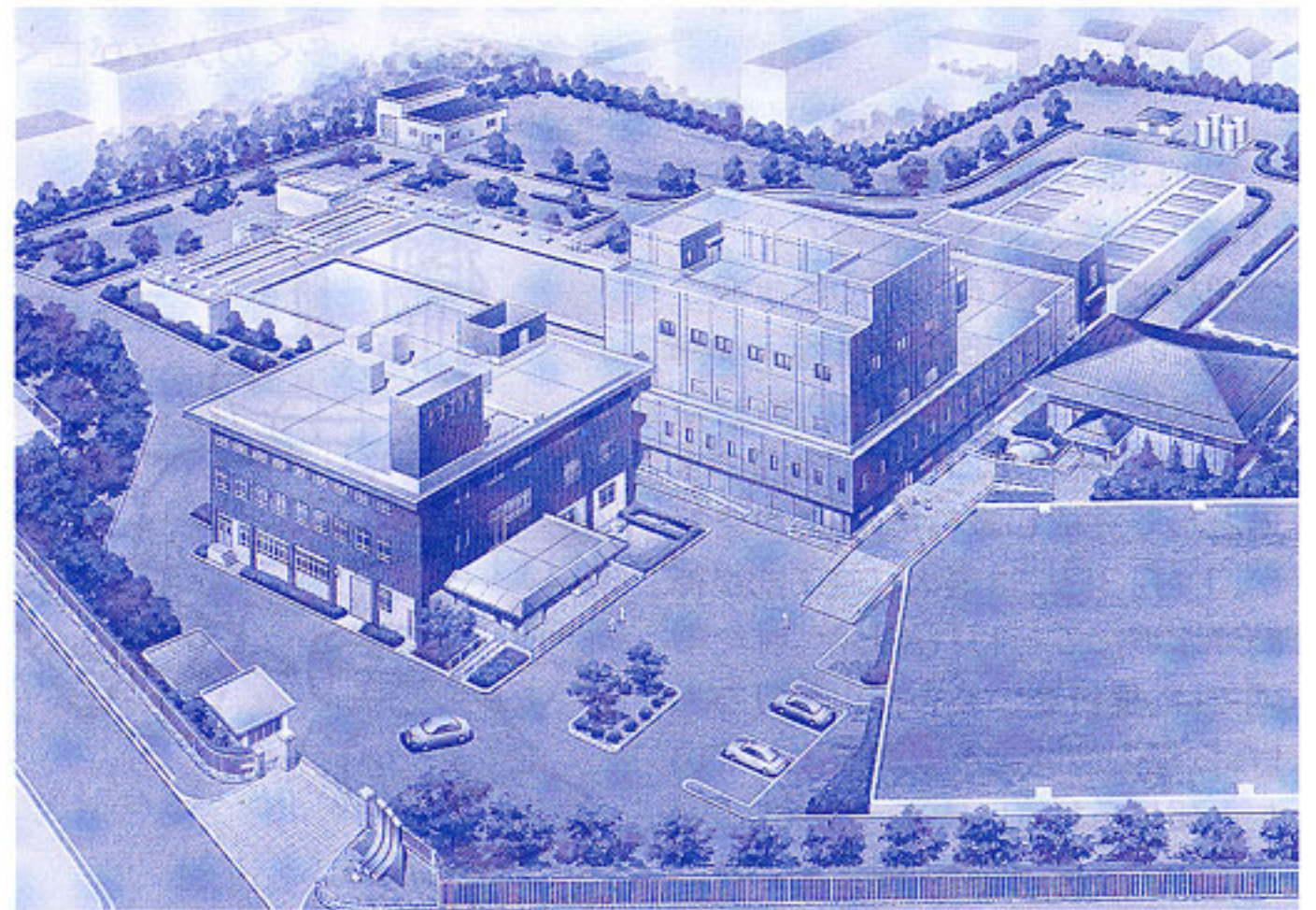
さて、この度、水道局では市民の皆さんに、より一層水道事業をご理解していただくために、「ウォーターニュース尼崎」を創刊いたしました。

この広報紙では、毎年のように発生する水道水のかび臭やトリハロメタンといった水質問題、高

度浄水処理導入によるより安全で良質な水づくり、安定給水の確保、事故・災害時の対策、水道の経営状況、歴史、水道に関する催しものなどの情報をわかりやすく編集し、年2回発行していきます。

ぜひ、ご愛読くださるようお願いいたします。

水道事業管理者
藤本 始



●高度浄水処理施設完成予想図(中央部)

より安全で良質な水づくりに着手——それは高度浄水処理です

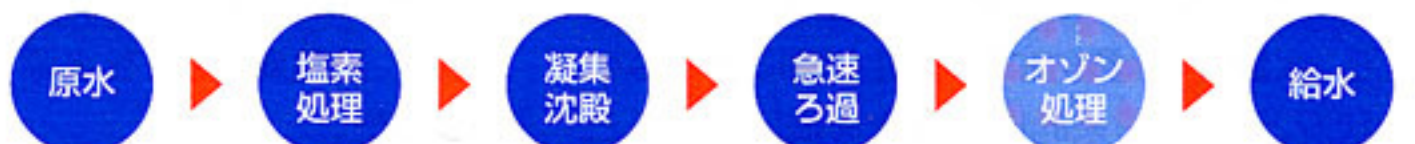
本市の水道の水源は、すべて琵琶湖・淀川ですが、その琵琶湖の汚れによって、近年毎年のように“かび臭”が発生しています。この原因は、家庭や工場からの雑排水が琵琶湖に流れ込み、これらに含まれるちっ素、リンを栄養源とする植物性プランクトンが春から秋にかけて繁殖し、一部のプランクトンがかび臭となる物質をつくりだすからです。

また、水道水をつくる過程で、川の水に含まれる有機物の一部と、浄水場で消毒に使われる塩素とが結合し、発がん性のおそれがあると言われていたトリハロメタンという物質が生成されることも問題となっています。本市の水道水に含まれるトリハロメタンの量は平均値で国の水質基準の3分の1程度、また、最高値でも2分の1程度で安心できる状態ですが、こうした好ましくない物質はできるだけ減らす必要があります。

そこで水道局では、こうした問題を解決し、より安全で良質な水道水を皆さんのもとにお届けするために、平成7年10月神崎浄水場内において、従来

の処理方法にオゾン処理、活性炭処理を加えた高度浄水処理施設の建設に着手しました。また、阪神水道企業団でも同施設の建設を進めており、市内全域に高度浄水処理水をお届けできるのは、平成12年度の見込みです。

現在の水道水のつくりかた

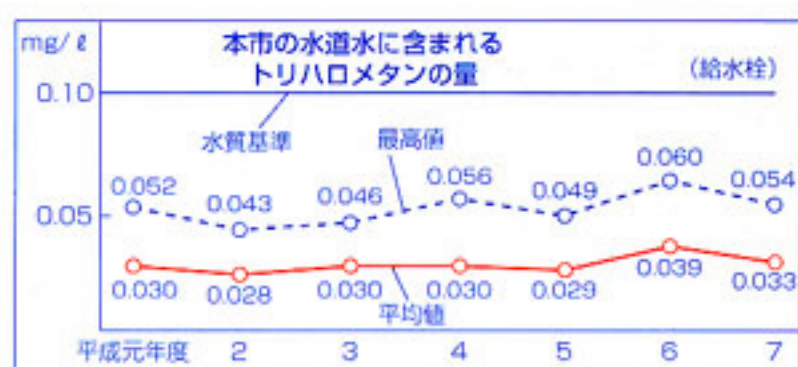


※オゾン処理は臭気発生時のみ行う

高度浄水処理による水道水のつくりかた



※阪神水道企業団とは、本市をはじめ、神戸市、西宮市、芦屋市へ水道水を供給している団体です。



●配水管復旧工事

平成7年1月17日の“阪神・淡路大震災”から一年半が経ちました。

この震災では、取水場や浄水場の施設については、機能に支障をきたすほどの被害はありませんでしたが、配水管、給水管については、およそ1万3千か所に及ぶ被害があり、地震発生当日には市域の2分の1が断水するという状況でした。このため、復旧に時間がかかり、すべての配水

災害に強い水道をめざして

管に水が行き渡るようになったのは、2週間後の1月31日となりました。

この間、応急給水には官・民27団体、応急復旧には大阪府下12市町の水道公認業者組合をはじめ、多くのの方々のご支援をいただきました。

本市では、この度の経験をもとに、災害に強い水道をめざして、地震対策に取り組んでいます。

①配水本管(口径300mm以上)については、耐震化を図っていく。

②配水支管(口径250mm以下)についても、今回の震災で液状化した



●高圧給水タンク車

地域等については、地域の整備計画に合わせて耐震化を進めていく。

③単一管路で給水されている地域については、管路のループ化を進めていくなどです。

一方、応急給水用資機材の整備としては、現在までに保有している高圧給水タンク車1台、給水タンク(1m³)6基、仮設給水栓17基のほか
①高圧給水タンク車1台
②給水タンク(2m³)3基
③仮設給水栓19基
などを新たに整備します。

また、大規模災害に対してはとてども、一水道事業者だけでは対応できないことから、全国の水道事業者で組織する日本水道協会でも広域的な相互応援体制づくりを進めています。

シリーズ「水道の歴史①」

尼崎市の水道事業は、平成10年に80周年を迎えます。

このコーナーでは、水道事業の創設から現在までを、シリーズでみなさまにご紹介していきます。

市内では、提灯をつるし花火を打ち上げ、歓喜の波は全市に満ちた



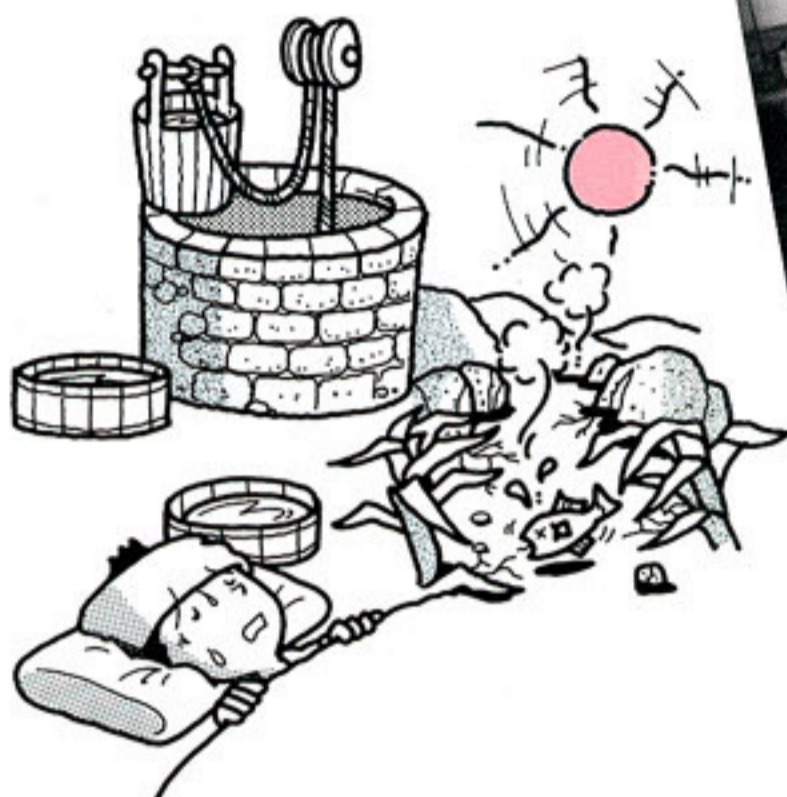
●神崎浄水場竣工式

じゃ口をひねると勢いよく出る水は、暮らしに欠かすことのできない大切な水です。本市に初めて水道ができたのは、市制施行から2年6か月後の大正7年(1918年)10月、兵庫県下では神戸市について2番目の水道として完成しました。これを祝い、11月3日には盛大な竣工式が神崎浄水場にて行われました。また市内では、提灯をつるし花火を打ち上げ、歓喜の波は全市に満ちみちていたと報じられています。

このように、水道の誕生をどれほ

ど待ち望んでいたかが分かります。

と言うのも、ほとんどの家庭ではそれまで、川の水や井戸水を生活用水として使っていましたが、不衛生なため、コレラや腸チフスなどの伝染病が流行し、多くの人々が亡くなったからです。



この創設事業は、大正5年10月に認可を得て、大正6年4月から工事に着手し1年6か月の月日と62万3,653円という莫大な費用を費やし完成させました(ちなみに大正6年度の本市の一般会計歳出総額は11万7,479円でした)。水源としては、当時まだ水量も豊富で、水質も比

較的良かった神崎川と藻川の合流点から取水していました。

■創設時とのデータ比較

	創設時	現在(平成8年3月)
施設能力	3,750m ³ /日	338,650m ³ /日
市域面積	7.37km ²	49.69km ²
給水人口	11,753人	485,228人
給水戸数	2,353戸	213,626戸
水道普及率	33.3%	100%



●人力による工事風景



●当時の神崎浄水場



遠く離れた淀川に新水源を求めて

このように当初は、神崎川と藻川の合流点から取水していたわけですが、大正11年から13年にかけて発生した異常渇水は、取水量の不足のみならず海水の逆潮による塩化などにより、当時3か年で延べ104日にも及ぶ断水をもたらしました。こうしたことから、水量的、水質的にも水道水源に適さない状況となり、将来的にも取水を続けていくこ

とが不可能となりました。

そこで、水量が豊富で水質も良好な淀川に新水源を求め、本市からおよそ8km離れた淀川右岸の柴島(現在の大阪市東淀川区)に、約2年の工期をかけ昭和3年に現在の柴島取水場を完成させました。

以後、琵琶湖・淀川を水源とするようになりました。

近畿1,400万人の水源「琵琶湖」は400万歳

近畿に住む1,400万人の大切な水源として、尼崎市はもちろんのこと、京阪神地域の上水道や工業用水、農業用水などに利用されている琵琶湖。では、この「命の湖」と言ってもよい琵琶湖とはどのような湖でしょうか。その面積は、滋賀県の約6分の1を占める673.8平方キロメートルあり、淡路島(593平方キロメートル)がすっぽりはいる、わが国最大の湖です。また、カスピ海、バイカル湖について世界でも3~4番目に古いといわれる琵琶湖はいつ、どのようにして生まれたのでしょうか。一説によれば、三重県の伊賀盆地に生まれた浅い湖が、その後の浸食、地殻変動などの影響を約360~370万年

の歳月にわたってうけ続け、約30~40万年前、ほぼ現在の所にたどり着いたということです。つまり、琵琶湖の年齢は、約400万歳。

普通、10万年以内と言われる湖の寿命から見れば記録的な長寿です。



●琵琶湖(南湖)



お知らせ

豊かなメロディ、リズムが8月3日に奏でられます

ご好評を得ている「水の音楽会」も回を重ねて今年で5回目を迎えます。今年は8月3日(土)、市制80周年の記念行事として「音楽でつづる水の旅」をテーマとして実施する予定です。多数のご参加をお待ちしています。

詳しくは、7月5日号の市報「あまがさき」をご覧ください。



ご注意ください

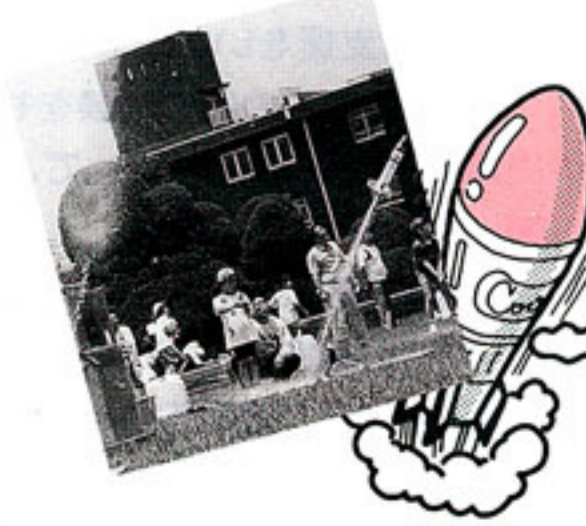


水道局と同じような名称を使って、強引に給水器具の修理や浄水器の販売を行い、高価な代金を請求する悪質業者がいますのでご注意ください。

大勢の参加者のもと水道週間終わる

去る6月2日(日)、神崎浄水場において実施しました水道週間行事「水体験いろいろ」には、多数のご参加をいただきありがとうございました。

今年初めて企画しました、「ペットボトルロケットを飛ばそう」には、ロケットが飛ぶごとに子供達から大きな歓声が上がりました。



聞きたいこと、言いたいこと

Q&A

Q: 7月下旬の夏休み中に引越するのですが、水道の手続きはいつ頃、どのようにすればいいのでしょうか。

A: 引越しされる1週間前(土・日・祝日を除く)までに、水道局営業課給水契約係 ☎ 4 8 9 - 7 4 1 0 へご連絡ください。

